

■中期・長期留学

中期・長期留学は、語学力の向上にとどまらず、学部で学んだ専門知識を土台として、留学先において更に専門性を深めることを目的としています。大学間の学術交流協定に基づく交換留学として実施されるため、学生は長崎大学に学費を納入し、長崎大学に在学したまま半年から1年間留学することになります。

・留学するためには、定められた時期までに語学力及び学業成績に関する一定の学部内要件を満たすとともに、学内選考に合格することが必要です。

・「オランダ特別コース」の学生は、1年間のオランダ留学が必修となります。その他のコースの学生にも中期・長期留学を強く推奨します。

・留学先で取得した単位は、授業内容・レベル・形態の観点から精査し、長崎大学で開講している科目の単位として認定します。そのため、中期・長期留学に参加した場合でも4年間で卒業することも可能です。

留学サポート体制

多文化社会学部では留学相談室を設置し、留学に関する必要な情報を提供しています。留学先の決定や渡航手続き、履修科目の選択等、留学に関する疑問や不安は、海外経験が豊富な国際交流ディレクターに相談することができます。

学生が海外留学に出発する前には、危機管理等に関するオリエンテーションを実施しています。留学中は、指導教員等が随時電子メール等で学生の修学・生活相談に応じるほか、留学先大学の担当者とも密に連絡を取り合い、学生の状況を把握するとともに、学部内での情報共有とトラブルへの対応に当たっています。

また、長崎大学は留学生危機管理サービス(OSSMA)に加入しており、24時間体制で学生の留学生生活をサポートしています。

(※留学サポート体制は、大学の組織変更により名称等が変更されることがあります。)



留学相談の様子

海外協定先(平成30年5月1日現在)

長崎大学には世界各地に海外協定先があります。夢や目標を持って世界へと飛び出していく学生を支援するため、今後も、さらに海外協定先のネットワークを広げていきます。

※()内はこれまでの留学実績(平成30年5月時点。現在留学中、渡航が決定済みのものを含みます。)



➤ 中期・長期留学に参加した 在学生からのメッセージ

現地の人々との交流を通してオランダの伝統や社会を学ぶ

4年 榎園 美香子

滋賀県・比叡山高等学校 出身

留学先：オランダ/ライデン大学

ライデン大学ではオランダ語を中心として、オランダの歴史や社会、文化に関して勉強しました。移民を多く受け入れている多文化な国だけあって、多様なバックグラウンドを持つクラスメイトとの授業では毎回新しい発見があり、とても刺激的でした。

私がこの留学で大切にできたことは、現地の人々との関わりや交流を通じた学びです。オランダでは季節毎に様々なパーティーやイベントが開かれ、その度にオランダ人の友人の家庭で伝統料理やお祝いごとを体験する機会を得ました。

多くのオランダ人に出会い、交流する中で、初対面でも自分の将来やプライベートをざっくばらんに話す、壁をつくらぬ人間関係の在り方に驚きました。そしてこのようなオランダの人々の性格が多文化な国を支えているのかもしれないと感じました。



左が榎園さん

世界屈指の名門大学で磨く「主体的議論参加」力

4年 榎本 力良

大分県立別府鶴見丘高等学校 出身

留学先：ドイツ/マンハイム大学

留学先では社会科学部に所属し、主に政治学と社会学の授業を受講しています。私が1年間で実際に受講した授業はすべてゼミナール形式でした。教師から生徒へ一方通行式に知識を伝達するレクチャーとは異なり、少人数制のゼミナールで求められるのは議論、「あなたはどうか考えるか」です。生徒は皆とても流暢な英語で主体的に議論を交わし、自分から手を挙げなければ誰もあなたに発言を催促しません。予習を怠り、自分の意見を用意せずに授業に臨めば、何も発言できずに教室の空気と同化し、90分に及ぶ地獄を見ます。しかし、議論に主体的に参加し、そこから何かを学び取るという気概があれば、十分に自分を試せる世界トップレベルの大学です。

マンハイム大学社会科学部の研究方法は定量分析・実証分析が主なので、その手法をしっかりと学んで、帰国後の卒業研究に応用するつもりです。



中央が榎本くん

【中国】	華東師範大学(1)
	陝西師範大学
	吉林大学
	山東大学(2)
	西北大学
	香港教育大学(1)
	北京外国語大学(1) ※
	※協定校ではないが中国政府奨学金を利用して留学
【台湾】	亞洲大学
	国立政治大学
	国立台湾大学(3)
	国立台湾師範大学
	国立高雄大学
	国立高雄応用科技大学
	成功大学
【韓国】	亞洲大学校
	建国大学校(2)
	東国大学校
	延世大学校(原州キャンパス)
	成均館大学校(1)
【インドネシア】	インドネシア大学
【タイ】	カセサート大学(2)
	チェンマイ大学
	チュラロンコン大学
【ベトナム】	カントー大学
【フィリピン】	アテネオ・デ・マニラ大学(1)
	フィリピン大学ディラン校(2)
	フィリピン大学ピサヤ校(1)
【ブルネイ】	ブルネイ・ダルサラーム大学(1)
【マレーシア】	テイラーズ大学(3)
【ノルウェー】	ノルウェー科学技術大学
【イギリス】	アバディーン大学(3)
	オックスフォード・ブルックス大学(3)
	キール大学(4)
	ハイランド&アイランド大学バース校
	マンチェスター・メトロポリタン大学(1)
【ドイツ】	アウグスブルク応用科学大学
	ゲオルク・ジモン・オーム大学ニュルンベルク
	ハインリヒ・ハイネ大学
	ホーフ応用科学大学
	マンハイム大学(7)
【オランダ】	ライデン大学(17)
	ラドバウト大学(2)
【ベルギー】	モンス大学
	ルーヴァン・カトリック大学(2)
【フランス】	アンジェ大学(1)
	パリ東=クレティユ大学(1)
【スペイン】	マラガ大学(3)
【イタリア】	カ・フォスカリ大学(1)
【ポルトガル】	フェルナンドペソア大学

留学奨学金

長崎大学では、中期・長期留学に係る費用の一部を支援することを目的として、海外留学奨学金制度を整備しています。また、様々な外部団体の奨学金制度を活用できるように支援しています。(※受給できる人数には限りがあります。また、予算の都合により今後変更される場合があります。)

◎日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣)(H29年度受給者34名)

学業成績や家計基準など一定の基準を満たした学生に対して、留学期間に応じて最大12ヶ月間、月額6～10万円(留学地域により異なる)を給付。

◎長崎大学海外留学奨学金(H29年度受給者5名)

学業成績など一定の基準を満たした学生に対して、留学期間に応じて最大3ヶ月間、月額6～10万円(留学地域により異なる)を給付。

◎トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム

(受給者：第4期生2名、第5期生4名、第6期生2名、第8期生2名)

文部科学省初の官民共同で取り組む海外留学支援制度である本プログラムでは、単位取得を目的とした留学だけでなく、インターンシップやフィールドワークなど、自分で組み立てた留学計画を支援。奨学金、渡航費、授業料などの支援を受けることができる。他の奨学金と比べて給付額が多いことも特徴。

◎中国政府奨学金(H28-29年度受給者各2名)

中国政府が給付する、中国に留学する学生を対象とした奨学金。生活費の給付や学費の免除など手厚い支援がある。

【カナダ】
ユニベグ大学(2)
カルガリー大学(3)
ニューファンドランドメモリアル大学(2)
フレーザーバレー大学(1)
マニトバ大学
レスブリッジ大学(2)

【アメリカ】
アーカンソー工科大学
ウェスタンイリノイ大学(1)
カリフォルニア州立大学モントレーベイ校(5)
ディキンソン州立大学(ノースダコタ州)
ノースイースタン・イリノイ大学(2)
ノーザン州立大学(5)
フロストバーグ州立大学(4)
ベネディクトイン大学(イリノイ州)(3)
ペンシルベニア州立インディアナ大学(1)
ミネソタ州立大学マンケイト校
メトロポリタン州立大学
モラヴィアン大学
ロングウッド大学(1)

【オーストラリア】
ウェスタンシドニー大学(1)
エディスコーワン校
クイーンズランド工科大学
サザンクロス大学(3)
サンシャインコースト大学(3)
ディーキン大学(2)
ビクトリア大学

気候も人も暖かい「人種のサラダボウル」での豊かな生活

4年 岸川 友菜

福岡県・筑紫台高等学校 出身

留学先：アメリカ/カリフォルニア州立大学モントレーベイ校

都会と田舎のちょうど中間のようなモントレーには海や山などの美しい自然がある一方、買い物やご飯を楽しむことのできる街もあります。また、国内でも「人種のサラダボウル」をより実感できるカリフォルニア州とあって、様々な国籍の人やもので溢れています。そんな素敵な場所で誕生日サプライズをしてもらったり、ハロウィンにはかぼちゃ彫りに挑戦したりと、異文化交流をしながら楽しく生活しています。

勉強面では、サービスマーケティングという授業を通して高校や放課後の小学校で日本の文化や言葉を教える「Japanese class」を開きました。ただ教えるのではなく、教えた結果やその意義を振り返って考察する計35時間の活動を通して、自分の関心である「教育を受ける権利」に対する考えを深め、改めて見つめ直すことができました。この経験をもとに卒業研究にも取り組む予定です。



前から2番目が岸川さん

体験を通じて自分と向き合う時間を与えてくれた留学生活

4年 大仁田 萌

熊本県立玉名高等学校 出身

留学先：中国/香港教育大学

教育をより専門的に学びたかったこと、中華圏の文化に興味があったことを理由に留学先を選択しました。満員電車や広東語が飛び交う市場には2カ月程度で慣れることができ、毎日新しい発見がある充実した生活を送ることができました。大学では、言語教育や社会学の授業を受講しました。教師志望の学生たちとそれぞれの国の教育について議論し、様々な視点に触れることができたのは非常に有意義でした。

週末には、日本人補習授業校でボランティア活動を行いました。日本語を懸命に学ぶ子どもたちや、教師の方々との関わりを通して、自分の教育に対する思いや進路を考え直すことができました。これからの卒業研究だけでなく、卒業してからも継続的に、海外で日本語を学ぶ子どもたちの日本語教育について学んでいきたいと考えています。日本語教師として香港で働くことを目標に、自分と向き合うことを怠らず、これからも勉学に励みます。



右から2番目が大仁田さん

毎日が新鮮で、充実した留学生活

4年 松尾 幸来

長崎県立長崎北高等学校 出身

留学先：韓国/建国大学校

建国大学校では、留学生のためのアクティビティが豊富で、他国からの留学生はもちろん、現地の学生との交流も深めながら、韓国の文化を体験する機会が多くありました。キャンパスの立地も良く、学生で賑わうグルメ街が近くにあるため、現地の学生の雰囲気を感じることができます。授業は英米文学や言語学など、英語開講の授業を受講しました。プレゼンテーションやディスカッションの時間も多く、授業を通して友人ができやすかったです。

授業がない時間帯や授業の後にはカフェで勉強したり、地下鉄に乗って遊びに行ったり、週末や連休には釜山や大邱へ小旅行に出かけたりしました。

授業や留学生とのコミュニケーションは英語でしたが、その他の日常生活では韓国語に触れるなど、日々新しく学ぶことの連続で楽しく充実した留学生活を送ることができました。



右から2番目が松尾さん